

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択必修】「主体的・対話的で深い学び」と地域の学習材		
担当講師名	田場 裕規		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2019年8月9日	振替日	2019年8月11日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭		
履修認定時期	2019年9月6日		
講習形態	一般講義		
講習内容	本講義で、「主体的・対話的で深い学び」について講義する。校種・教科等の別なく「主体的・対話的で深い学び」のイメージを持つために、地域の学習材を用いた授業計画を作成を行う。大学教育の質的転換をめざして、2012年にアクティブラーニングの考えが提唱され、さらに、2014年11月文部科学大臣が中教審に行った諮問により、初等中等教育にまで考えが広げられることになった。初等中等教育では、これまでも、アクティブラーニングに関係する実践はあったが、より一層授業の高度化をめざした視点を持ちたい。		
※受講希望者が5人未満の場合は閉講とする。			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～10:10	第1講 アクティブラーニングと「主体的・対話的で深い学び」		
10:20～11:20	第2講 アクティブラーニング論の背景と課題／「主体的・対話的で深い学び」の要件		
11:30～12:30	第3講 「深い学び」の諸相		
12:30～13:20	昼休み		
13:20～14:20	第4講 知的構成型ジグソー法と地域の学習材		
14:30～15:30	第5講 授業計画の作成と検討		
15:30～16:30	自習時間		
16:30～17:30	筆記試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験の得点と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】フィールドで学ぶ琉球古典の世界		
担当講師名	西岡 敏		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2019年8月4日		振替日 2019年8月31日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	琉球文化に関心のあるすべての教諭		
履修認定時期	2019年8月17日		
講習形態	一般講義		
講習内容	琉球国の時代には、祭祀歌謡であるオモロ、琉球独自のリズムを持った短歌である琉歌、台詞と音楽が融合した舞台芸術の組踊など、琉球の固有文化が花開きました。沖縄国際大学のある宜野湾市の周辺には、こうした琉球古典に関わる所が数多くあります。また、琉球文によって書かれた碑文もいくつか残っています。文学史蹟を訪ね、琉球古典について学び、共に考えていきましょう(入場料等の実費が必要となる場合あり)。 ※受講希望者が5人未満の場合は閉講とする。		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:30	オリエンテーション(出欠確認・自己紹介・全体説明ほか)		
9:30～10:30	第1講 琉球語概説(沖縄中南部方言を中心に)		
10:40～12:10	第2講 琉球古典概説(現地見学の作品を中心に)		
12:10～13:00	昼休み		
13:00～14:40	第3講 フィールド巡見(バスによる現地見学)		
14:40～16:10	第4講 ビデオ鑑賞と解説(現地見学したフィールドが舞台の作品を中心に)		
16:20～16:50	自習		
17:00～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケートの回答および回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	試験の点数および受講態度		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】沖縄の古典芸能と学校教育		
担当講師名	狩俣 恵一		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2019年8月10日	振替日	2019年8月24日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校教諭		
履修認定時期	2019年9月20日		
講習形態	一般講義		
講習内容	琉球・沖縄の芸能の歴史を概観し、琉球王国時代の王府芸能が近代以降に古典芸能として生まれ変わったことを説明する。そして、沖縄の古典芸能と学校教育について、「歌詞」「唱え及びその詞章」について解説し、音楽・所作・衣装・舞台環境について総合的に考察する。また、本講座では、組踊役者をゲストスピーカーとして招いて、所作等の実演を通して学ぶこととする。 ※受講生が5人未満の場合は閉講とする。		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～10:10	琉球語と沖縄古典芸能の言葉		
10:20～11:20	琉球の王府芸能―御冠船踊りと江戸上りの芸能―		
11:30～12:30	王府芸能から民間芸能へ―沖縄古典芸能の成立―		
12:30～13:20	昼食・休憩		
13:20～14:10	沖縄古典舞踊の実演と解説		
14:20～15:20	組踊の実演と解説		
15:30～16:20	学校教育と沖縄芸能の継承		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	試験の点数・受講態度		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】教育裁判例を読む		
担当講師名	安原 陽平		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2019年8月10日	振替日	2019年8月23日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校教諭		
履修認定時期	2019年8月30日		
講習形態	一般講義		
講習内容	本講義の目的は、よりよい教育環境のために必要なことを考察することです。主要な教育裁判例を読み、責任の所在を各ケースごとに検討します。もちろん、法的な責任と教育上の責任は完全には一致しません。そのため、法的な責任を知ることが、直接教育上の責任を知ることになるとは言えません。しかし、法的な責任を知ることによって、よりよい教育環境のために果たすべき教育上の責任は何かを考えることは可能です。 ※5人未満の場合は講習を閉講とする。		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～10:10	第1講 学校事故をめぐる教育裁判例を読む		
10:20～11:20	第2講 学校災害をめぐる教育裁判例を読む		
11:30～12:30	第3講 教職員の処分をめぐる教育裁判例を読む		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	第4講 体罰に関する教育裁判例を読む		
14:30～15:30	第5講 その他の主要な教育裁判例を読む		
15:30～16:30	進度調整・自習時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験の内容、授業中の発言等を総合的に評価		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】地図を学ぶ		
担当講師名	小川 護		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2019年8月16日	振替日	2019年8月19日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校教諭		
履修認定時期	2019年9月13日		
講習形態	演習		
講習内容	小学校から高等学校まで、多くの授業で地図を活用することは、充実した魅力ある授業づくりに役立ちます。2020年からの新学習指導要領では、社会科を中心に地図活用度がますますその高まりをみせています。本講座では地図やGIS(地理情報システム)の活用方法について最新の地図事情を含め、地図についての基礎知識をお伝えしたいと思っています。		
※受講希望者が5人未満の場合は講習を閉講とする。			
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション(出欠確認)		
9:10～10:10	第1講 地図の基礎知識		
10:20～11:20	第2講 地球上での位置情報について(丸い地球から平面の地図へ)		
11:30～12:30	第3講 GISの基礎入門(地理情報システムとはなにか)		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	第4講 GISソフトを活用して地形図読図を体験する(地形・土地利用・歴史的変化など)		
14:30～15:30	第5講 地図を用いた地理授業の展開(GISを用いた教材作りとその活用)		
15:30～16:30	自習時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	実技考査		
評価基準	実技考査の得点と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】いまさら聞けない統計学		
担当講師名	齋藤 星耕		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2019年8月16日	振替日	2019年8月19日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	教諭、養護教諭、栄養教諭		
履修認定時期	2019年8月23日		
講習形態	その他		
講習内容	専門家ならずとも「統計学的に有意」という言葉はしばしば耳にするが、どういう意味だろうか。統計分析は、我が国では高校では僅かしか触れられず、また専門書は精緻な数学で綴られているために敷居が高い。そこで本講義では、「絵を見て理解する・使って慣れる」ことに主眼を置き、フリーソフトを用いて受講者自身が簡単な統計分析を行えるように講義と演習を行う。演習では学業成績の分析に加え、健康科学や食品科学のデータも扱う。 ※ノートパソコンを持参してください。 ※5人未満の場合は講習を閉講とする。		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～10:10	第1講 統計分析は何のため？		
10:20～11:20	第2講 棒グラフを見かけたら（平均、分散、平均値の差の検定）		
11:30～12:30	第3講 集計表を見かけたら（カイ自乗検定）		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	第4講 散布図で表現できるデータの分析（回帰分析入門）		
14:30～15:30	第5講 データを分類&データの背景を探る（多変量解析入門）		
15:30～16:30	自習時間		
16:30～17:30	試験(実技考査)		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	実技考査		
評価基準	統計ソフトを用いて、適切な手法を選択して統計分析の課題を解くことが出来る		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】琉球・沖縄を教材とした地理学習の指導法		
担当講師名	崎浜 靖		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2019年8月17日	振替日	2019年9月14日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校教諭・中学校の社会科教諭・高等学校の地歴科教諭		
履修認定時期	2019年8月31日		
講習形態	その他		
講習内容	社会科・地理学習における指導方法を考える際に、重要な事項として、①地理教育の方法論、②地理の学習理論、③地理的技能の修得、④現代社会との関係性などが挙げられる。本講習では、①と③の事項に焦点を当て、「沖縄の地理」の教材化の方法について、古地図・地形図などの地図資料を用いながら検討したい。 ※受講希望者が5人未満の場合は閉講とする。		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～10:00	地理教育の方法と課題		
10:00～12:00	沖縄関連の地図資料の特徴(琉球の古地図、近代期地形図、現代地形図など)		
12:00～13:00	お昼 休憩		
13:00～14:00	地図資料を用いた地域調査の方法		
14:00～15:30	地形図を用いた主題図の作成		
15:30～16:30	自習時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験の得点と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】沖縄経済の課題と展望		
担当講師名	前泊 博盛		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2019年8月19日	振替日	2019年8月20日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校教諭		
履修認定時期	2019年9月30日		
講習形態	一般講義		
講習内容	戦後の沖縄経済は、全国最低の低所得、低賃金、低貯蓄、低持ち家率、高失業率、高離職率、高廃業率、高無業率など厳しい経済環境にあります。なぜでしょうか。背景には、沖縄経済は、基地、公共事業、観光の「3K依存経済」があります。経済は数字が基本です。沖縄経済の現状をデータで検証し、課題を抽出しながら、新たなうねりをみせる健康、環境、金融、研究、教育、交易、交通など「新10K経済」の展望について整理し、子供たちの素朴な疑問に応えられる教育を目指します。		
※受講希望者が5人未満の場合は閉講とする。			
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	講義の概要とオリエンテーション		
9:10～10:10	第1講 戦後沖縄経済の概況(3K依存経済と県経済の課題)		
10:20～11:20	第2講 基地経済(基地経済の生成と役割、呪縛と諸相)		
11:30～12:30	第3講 観光経済(歴史と実態、課題と展望)		
12:30～13:20	昼食休憩		
13:20～14:20	第4講 公共事業とアジア経済戦略構想(沖縄振興計画の検証を中心に)		
14:30～15:30	第5講 脱基地経済と新10K経済の概況(沖縄経済の発展可能性)		
15:30～16:30	自習時間(質疑応答)		
16:30～17:30	試験(検定)		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準			
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】フィールドで学ぶ沖縄の地理空間		
担当講師名	崎浜 靖		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2019年8月20日		振替日 2019年9月15日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校教諭・中学校の社会科教諭・高等学校の地歴科教諭		
履修認定時期	2019年8月31日		
講習形態	その他		
講習内容	社会科・地理教育における課題の一つとして、生徒が実際の地理的空間に展開されている事象と、教科書・地図帳に記載されている事象とを関連させて、「思考」を深めることができないことが挙げられる。それを克服する方法として、地理教育では古くから野外学習(巡検)を実施してきた。本講習では、学校現場で応用できるように、地形図・空中写真・歴史資料を用いながら、上記の課題を検討したい。※沖縄本島中部地域のバス巡検を実施する。 ※受講希望者が5人未満の場合は講習を閉講とする。		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～10:40	5号館屋上から普天間基地を見学後、沖縄国際大学を出発		
10:40～12:00	宜野湾市～北谷町～読谷村～嘉手納町 * 各市町村の基地返還跡地の土地利用		
12:00～13:00	お昼 休憩		
13:00～14:30	嘉手納町～沖縄市(コザの都市空間)～北中城村		
14:30～15:30	北中城村～中城村(集落立地と土砂災害)～宜野湾市		
15:30～16:30	自由時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験の得点と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】ゲームやパズルを通して学ぶコンピュータの基本原理		
担当講師名	小渡 悟		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2019年8月20日	振替日	2019年8月22日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	プログラミング教育, IT教育に関心のある教諭		
履修認定時期	2019年8月27日		
講習形態	演習		
講習内容	ゲームやパズルを通してコンピュータの基本原理を楽しく学べる方法を講習する。コンピュータの進歩はとて早い「使い方」を学んでもすぐに陳腐化してしまう。しかし、コンピュータの「基本原理」はすぐには変わらないことから、この基本原理を学ぶことで「時代が変わっても通用する力」を身につけることができる。 本講習ではコンピュータの専門家でなくてもゲームやパズルを通して基本となる情報の表現方法、情報理論、アルゴリズムを修得することを目指す。 ※5人未満の場合は講習を閉講とする。		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～10:10	情報を表す素材1		
10:20～11:20	情報を表す素材2		
11:30～12:30	コンピュータを働かせる(アルゴリズム)1		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	コンピュータを働かせる(アルゴリズム)2		
14:30～15:30	コンピュータに何をすべきか教える(手続きの表現)1		
15:30～16:30	コンピュータに何をすべきか教える(手続きの表現)2		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準			
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】スクラッチで楽しく作るゲームプログラミング入門		
担当講師名	小渡 悟		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2019年8月21日	振替日	2019年8月23日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	プログラミング教育, IT教育に関心のある教諭		
履修認定時期	2019年8月28日		
講習形態	演習		
講習内容	世界的なプログラミング必修化の流れもあり, 国内でも義務教育段階からのプログラミング教育の導入が検討されている。近年, 小学校低学年でもアイコンを組み合わせることで簡単にプログラムを作成できるシステムが増えてきている。 本講習では一般の生徒らが教養として楽しめるプログラムの作成方法について学ぶ。具体的にはプログラム言語「Scratch(スクラッチ)」を用い, ゲーム制作を通してプログラムの基本処理(順次・反復・分岐)について修得することを目指す。 ※5人未満の場合は講習を閉講とする。		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～10:10	スクラッチの超簡単入門(基本操作)		
10:20～11:20	ねこを歩かせてみよう(基本処理:順次処理, 反復処理)		
11:30～12:30	もし〇〇なら△△をしてみよう(基本処理:分岐処理)		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	シューティングゲームを作る1		
14:30～15:30	シューティングゲームを作る2		
15:30～16:30	自分だけのゲームを作る(課題作成)		
16:30～17:30	成果発表		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	実技考査		
評価基準			
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択】英語音声実践トレーニング		
担当講師名	李 イニッド		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2019年8月22日	振替日	2019年8月23日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校教諭、中学校・高等学校英語科教諭		
履修認定時期	2019年9月30日		
講習形態	演習		
講習内容	最近国内の英語教育においては、「話す、聞く」の学習に重点を置き、音声による実践的なコミュニケーション能力の育成が重要視されるようになってきた。本講座は国際音声記号などを使って確実に英語の発音を矯正する方法を紹介し、英語指導能力及びコミュニケーション能力の向上を目指す。日本人にとって特に難しいポイントを焦点にあてて英語音声を基礎からしっかり学び、正しい発音、イントネーション、リズム感を修得する。 ※CALL教室を使用のため、最低限のPCスキルは必要である。 ※5人未満の場合は講習を閉講とする。		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション(出欠確認)		
9:10～10:10	第1講 セルフアセスメント・子音		
10:20～11:20	第2講 母音		
11:30～12:30	第3講 音節・アクセント・リズム		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	第4講 リエゾン・脱落		
14:30～15:30	第5講 句切り・イントネーション・学習ツールの紹介		
15:30～16:30	自習時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	(選択してください)		
評価基準			
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	